

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいとびあ子ども発達教室“ぼる”		
○保護者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員間のチームワークの良さ	・グループ前後のカンファレンス、月1回のスタッフカンファレンスで話し合い、共有している。	・充実した研修を実施できるよう図る。
2	・常勤職員と専門職のつながりの強さ	・心理職や常勤保育士が、毎回、個別療育の実施前に各専門職と情報共有を行い、課題検討も行っている。	・年2回の専門職会議の実施
3	・保護者の相談のしやすさ	・午前グループ、午後グループで保育士、心理職がさりげなく保護者の悩みを聞き取り、グループ後のカンファレンスで対応を検討している。	・グループ後のカンファレンスで話し合っていると時間がオーバーして職員の負担が増してしまうため、論点整理をして時間管理を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者への情報提供のバリエーションの少なさ	・メール中心の情報提供となるため、あまりメールを見ない多忙な保護者がタイムリーに情報を得にくい。	・利用できる情報提供のツールについて調べたり、必要があれば予算措置を考えて所管課に相談する。
2	・特定職務準職員保育士(非常勤保育士)の勤務体制の余裕がないこと	・募集をしてもなかなか応募がない(希望者が求める働き方とこちらが求めている働き方が合わない)。	・折り込みチラシ配布等予算内で工夫してできる募集方法にトライしていく。
3	・内部研修の少なさ	・虐待防止研修以外は、年間計画に研修を取り入れていない(計画性がない)。	・毎年の年間計画に研修時期を取り入れ、確実に実施していく。